

第 9 回 半田市産業振興会議 議事録

令和 6 年 2 月 21 日(水) 15 時 00 分～17 時 00 分 半田市役所 303 会議室

産業課	定刻になりましたので、第 9 回半田市産業振興会議を開催します。 本日の内容は以下です。 2.「CCRC について」 3.「人材獲得のための分科会」 4.「未来志向の勉強会」 5.「その他」 なお、本日は人材確保に関しまして、今年の 4 月を目途に新たな取組を始められる知多信用金庫から、榊原様にお越しいただきました。後ほど、事業の紹介をいただきますのでご承知おきください。
委員長	2.CCRC について 前回の会議では、日本福祉大学客員教授 松田先生に講義をいただきました。 その講義を受けて、今後産業振興会議として、どのように議論を進めるべきか、事務局から委員にアンケートを取ってもらっています。まずはその報告を事務局からお願いします。
産業課	(事務局説明) アンケート結果について報告致します。各位からいただいた進め方に関するご意見を一覧表にまとめたものです。大きく分けて、3 つの切り口のご意見をいただいております。ひとつは、CCRC の実施事例の詳細調査などの、①検討に必要な事前調査が必要というご意見、二つめは、中心市街地活性化を進めるなら、中心市街地に CCRC があったほうが良いなどの、②半田市の CCRC の方向性に関するご意見、三つめは、③どの会議体で進めるのか。まちづくりの視点がキーになるため、内容的に産業振興会議で進めることが適切かどうか、といったご意見をいただいております。

委員長	委員のみなさまのご意見を総括すると、先日の松田先生のお話からも、概念としては半田市にとっても有益であり、もちろん雇用など産業面からの効果も期待はできるものの、産業の切り口だけでなく、まちづくりや福祉の視点も多分に含んでいること。そのため、そうした他の分野での意見も踏まえながら、検討していく必要があり、産業分野の知見だけでは深堀をする議論はなかなか難しいのでは、とのご意見と思います。 この産業振興会議の役割としては、「産業振興に関する助言や提言」を行うということですが、例えば、CCRC に関しては、この段階で、産業振興の可能性のある一つの手法として、具体的な検討を進めてみてはどうかと、市長に提案をしていきたいと思うのですが、いかがでしょうか。 検討の進め方については、市長にお任せをするところではありますが、産業振興会議の委員の意見を踏まえますと、各分野の方々を集めて議論を始めたとしても、なかなか話が進まないと思われます。そこで、日本福祉大学も興味を示していることから、例えば、まずは日本福祉大学と協議することからスタートしていただければよいのでは、ということについても、併せて提案をさせていただきたいと思います。 検討を進めるなかで、産業に関しての知見や検討すべき点が出てれば、必要に応じて、産業振興会議を活用して、意見聴取や議論をしていけばよいと考えます。 この点について、委員の皆様のご意見を伺いたいののですが、いかがでしょうか。
委員	CCRC に関して、基本的な振興策のひとつとして絞込みをするのであれば、産業振興会議で議論を深めて方向づけを図ってから進める方がよいのではないかと。
委員	人口減少に伴う経済の停滞や老後の心配を考えると、CCRC は良い考え方。中心市街地に CCRC を持ってくることも利便性の観点から有効な手段ではあると思うが、知多半島総合医療センターの設置される周辺は、大きな可能性を秘めた地域。民間主体で進めるという点においても、日本福祉大学とどういう形が望ましいか相談しながら進める事が重要。
委員	介護事業で稼ぐのではなく、介護をさせないことで稼ぐという視点もこれからの時代は必要になるのではないかと。
委員	実施のためには、経済効果を正確に算出する必要がある。そのために多くの成功・失敗事例の検証が必要。
委員	住み替えの促進、まちづくりの視点が必要な事業。

委員	島根県江津市の CCRC に類似した取組を見学したことがある。介護ではなく多世代交流をメインにしており、若者が江津市に来る戦略を立て、介護を支えて、そこで起業しようとしている人を増やそうとしていた。市の CCRC の方向性が決まれば、そこを基軸にして産業視点の議論ができる。
委員	CCRC は、介護だけでなく福祉、産業振興の視点が必要となり、まちづくりの活動であると認識している。人口減少解消の手段として、ぜひ取り入れたい。
委員長	産業視点のみでは CCRC の方向性を決めることは難しいため、日本福祉大学と協議して方向性を定めたのち、そこを基軸として産業振興会議にて産業視点の議論とした方がよいと思います。 委員各位より、おおむね賛成をいただけたので、久世市長、CCRC については、引き続き、市を中心に検討を進めていただきたいと思います。一言お願い致します。
久世市長	委員の皆様、ありがとうございます。ご指摘のとおり、本件を進めるにあたっては、まちづくりや福祉の視点も必要となる取組となるため、総合的な判断が必要かと考えます。ひとまずは半田市側で受取り、議論を進めさせていただきたいと思います。 CCRC に関しては、多様な取り入れ方がありえると考えています。どのようなタイプが市として適切なのか、提案の中にもありました CCRC に関して知見のある日本福祉大学と協議を足掛かりとして、検討させていただきたいと思います。
委員長	久世市長、ありがとうございます。それでは、引き続きよろしくお願いします。 続きまして、 3.「人材獲得のための分科会について」、部会のリーダーから説明をお願いします。まずは「アンケートと高校への企業 PR」について、ご説明願います。
部会リーダー	「アンケート、高校への企業 PR」説明。 産業振興において、事業者を元気にするという目標の中で、事業者が困っている要因は人材不足ではないか、という仮説を裏付けるためにアンケートを行った。実際の現状はどうか、具体的にどう困っていてどうすれば改善するのか、をヒアリングした。 ・80%以上の事業所が人材確保を困難と感じている。 ・採用人数のうち市内高校出身者数は0人の事業所が45%。 ・採用活動における課題は、大学や高校との関係強化を求める声が多い(41%)。 対策として、地元の企業を知ってもらうためのPRの場として、高校での企業PR事業を企画している。

委員長	ありがとうございます。今の説明に対して、ご意見ございましたらご発言願います。
委員	大学生、高校生の採用は大変厳しい。市外の大企業、IT企業に偏ってしまう。本活動は市内の中小企業の採用促進になると思うので、是非続けていただきたい。
委員長	それでは、本件に関しては、このとおり進めることとします。続きまして、人材の確保の参考事例として、知多信用金庫が新たに取り組まれます「有料職業紹介事業」について、ご紹介いただきたいと思います。
知多信用金庫	有料職業紹介事業の説明 令和6年2月1日（木）、「ちたしんキャリアセンター」を開設した。当金庫営業エリア事業者の人材確保の支援等が目的。職業紹介事業は当金庫として初めての試み。ぜひ情報展開していただきたい。
委員長	続きまして、「オープンファクトリー」についてご報告願います。
部会リーダー	「オープンファクトリー」について、説明。 市内の就業人口減少の対策として、将来の世代を担う子供たちに半田市の仕事を紹介し、就職活動時に思い出してもらい、市内就業率UPの助けにしたい。以下内容で実施した。 実施日：10月13日（金）、10月14日（土） 参加事業所：12事業所 来場者数：1,613人 事業所、参加者にアンケートを実施したところ、とても好評であったため、来年度も実施予定。課題としては、今年度は準備期間が足りず告知期間が短かったため、周知活動が十分ではなかった。来年度は期間に余裕をもって市内への周知を行いたい。
委員長	ありがとうございます。今の説明に対して、ご意見ございましたらご発言願います。
委員	学校の企業見学では予め決まった企業しか見学できない。オープンファクトリーでは子供が主体的に見学先を選べるので大変良い。来年度もぜひ実施していただきたい。
委員長	それでは、本件に関しては、このとおり進めることとします。 4.未来志向の勉強会についてご説明願います。

委員	「未来志向の勉強会」について、説明。 全4回開催予定のうち、第3回まで終了。第1回から2回はワークショップを中心にクリエイティブ能力を磨き、第3回より社会課題解決のための取組に着手した。第4回3月14日にアウトプットのまとめを行い、終了予定。
委員長	本日予定していた内容は以上で終了となります。最後に「その他」といたしまして、委員の皆様から何かございますでしょうか。 <特になし>
産業課	本日の会議以降も、引き続き、ご意見がある場合は、メールなどでお送りください。次回、第10回会議は、6月を予定しております。 以上で、産業振興会議を終了いたします。ありがとうございました。